

001.かがやきいでる明けの星

1 合唱

かがやきいでる 明けの星
めぐみとまことに満ちる
わがきみ こころの主なれ
エサイよりいでし ダビデの子孫
親しいわが君 また王 心の主なれ
親しくやさしい、ゆたかな力の
主イエスよ 気高い わが君

02 朗唱・テノール

まことの神の子、マリアの子
選ばれた民の王
この命の言葉は心地よい。
古の父祖たちもながく待ちわびた。
ガブリエルはベツレヘムでこう言った。
いとあまき天からのパン
これは墓、危機、死さえ
わたしから奪えない。

03 アリア ソプラノ

天の神より出る炎よ
あなたを信じる心をみたしたまえ。
心は激しく燃える愛を受けて
御国の喜びをこの世で味わっています。

04 朗唱・バス

この世や肉の光は心を動かさない。
神より来る喜びの光 湧き出で、救い主の体と血潮
それは命の糧であり、永遠の定めなれば あふれる祝福
信じて受け、讃美となる。

05 アリア・テノール

われらの口と琴の調べは どんなときにもあなたに
感謝と供え物をささげん。
心のおもいは高められ、
生きる限り、讃美して、
偉大な王であるあなたをたたえます。

06 コラール

心のよろこびわが宝 アルファまたオメガ、初めまた終
わりなれば
わたしも御国に迎えられ、手をうちならし、讃美を共
にしよう。
アーメンアーメン 来ませ 美しい冠の君 急ぎませ
待ち待ちこがれてきた 君。

解説

1.かがやきいでる明けの星

初演 1725年3月25日 受胎告知の祝日 聖トマス教会
歌詞 Philipp Nicolai 1599

この日はマリアへの受胎告知の祝日で、神の子イエスの誕生を、

闇の中から「かがやきいずる明けの星」と歌う

2.ガブリエルはベツレヘムでこう言った。(ルカ1:26以下)

いとあまき天からのパン (ヨハネ6:33)